

日本脳炎ワクチンについてよくある質問

埼玉よりい病院 小児科

Q1. 日本脳炎ワクチンは接種した方が良いの？

A1. 日本脳炎ウイルスはブタなどの体内で増殖され、蚊によって媒介されて人に感染します。人から人への感染はありません。ウイルスに感染しても発症率は100～1000人に1人程度であり、ワクチンの普及で日本脳炎の発症は年間10名未満です。しかし脳炎を発症すると特異的な治療法がないため、致死率は20～40%前後と高く、回復しても半数程度の方は重度の後遺症が残ります。有効な予防法はワクチンのみであるため、ワクチンは接種したほうが良いでしょう。



Q2. 接種間隔が空いてしまっても大丈夫なの？

A2. 日本脳炎の発症年齢はほとんどが3歳以降です。蚊に刺されないように対策を行い、日本脳炎の流行地域（九州地方・中国地方・四国地方）でなければ、1期1回目の接種が多少遅れても問題ありません。1期1回目と2回目の間隔は通常1週間以上4週未満ですが、1年以内であれば接種可能な時点で2回目を接種し、3回目（1期追加）は2回目から1年後で大丈夫です。1回目と2回目の間隔が数年以上空いた場合は、出来れば1回目から接種し直した方が良いでしょう。その場合は1回分任意接種（自費）となります。2回目と3回目の間隔は通常1年ですが、1年以上空いた場合、接種可能な時点で3回目を接種し、9歳以上13歳未満に接種する4回目（2期）を通常通り接種すれば良いでしょう。



Q3. 品薄の状況はいつ頃改善されるの？

A3. 2021年12月頃から徐々に改善される見通しです。それまで入荷時期および本数は未定ですが、当院では今後も数本ずつ入荷される予定です。入荷次第当院ホームページに掲載致します。接種希望の方はホームページにて入荷状況を確認し、お電話での確認や予約をお願い致します。

